

# 組立・施工説明書

## 側面パネル テラス屋根・バルコニー屋根

### 《お願い》

商品の組立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。  
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組立方法、施工方法をまとめたものです。本書をよくお読みいただき、安全に正しく組立て、施工を行ってください。

'19-2月 発行

# はじめにお読みください



このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組立・施工される方にお渡しください。  
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。
- 本説明書は、「側面パネル テラス屋根・バルコニー屋根」の組立・施工要領について説明しています。  
本体・屋根妻パネル・側面パネルすき間隠しは、各同梱の組立・施工説明書を参照してください。
- 本説明書は、一人施工を想定した組立・施工で説明しています。  
1階の場合は、パネル組立後、柱に取付ける方法でも施工できます。








## 本書内の表記

- 商品の組立、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。  
内容をよくご理解のうえ、商品の組立、施工を行ってください。

## 警告／注意／お願い

表記	意味
 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
<b>お願い</b>	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

## その他の表記

表記	意味
 <b>改訂</b>	商品や作業に変更があったことを示しています。 必ず変更点を確認のうえ、作業を行ってください。
 <b>ご注意</b>	作業上の注意して頂きたい内容を示しています。
 <b>Check</b>	確認して頂きたい内容を示しています。
 <b>ポイント</b>	商品の組立・施工を行う際の作業のポイントを示しています。
 <b>電気工事</b>	電気工事士の資格を有する方が行う作業を示しています。
 <b>電動ドライバー禁止</b>	電動ドライバーを使用してはいけないことを示しています。
 <b>シーリング材</b>	必ずシーリングを行って頂きたい箇所を示しています。

# もくじ

---

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
<b>作業前の確認</b>	<b>P.3</b>
全体構成図	P.3
寸法図	P.4
商品断面図	P.5
<b>組立・施工</b>	<b>P.7</b>
組立の順序	P.7
躯体柱位置の確認 (P.6 商品断面図参照)	P.7
部品の取付	P.8
枠の取付	P.9
パネル材の取付	P.11
連結金具の固定	P.12

# 安全にお取扱いいただくために

## ⚠ 注意

- 本商品の組立て、取付けは、所定のボルト・ねじを使用し最後まで確実に締付けてください。締付け不良は漏水や事故につながるおそれがあります。
- 取付けは、柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず取付けてください。商品の破損や部材の脱落につながるおそれがあります。
- コーチねじの取付けは所定の下穴を必ずあけてください。
- 経年劣化などで構造材が損傷している場合は、お施主様と打合せをし、復旧、補強工事を行ってから商品を取付けてください。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。漏水につながるおそれがあります。

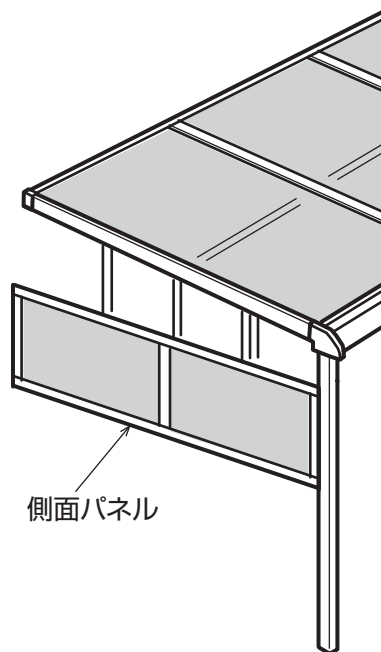


- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全带、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組立て、取付けは相応の人数で行ってください。
- 作業は各作業工程を考慮して進めてください。  
また、国家資格、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
- 作業者が相互に安全、健康状態について確認を行ってください。
- 事故が発生した場合は作業を中断し、安全を確保のうえで、ただちに手当てを行ってください。

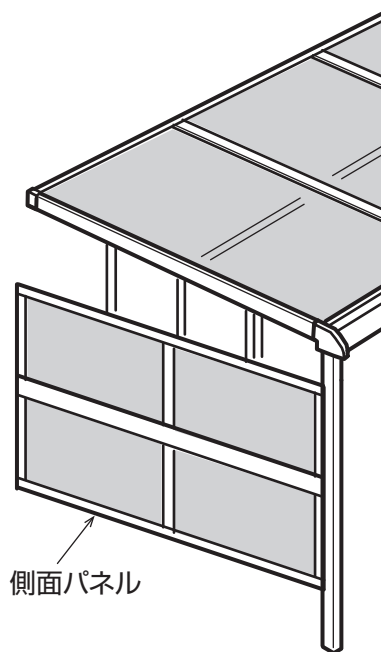
# 作業前の確認

## 全体構成図

《1段タイプ》



《2段タイプ》



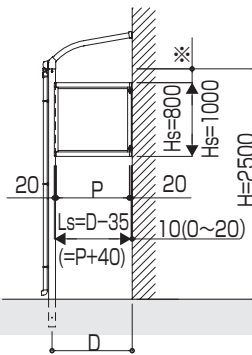
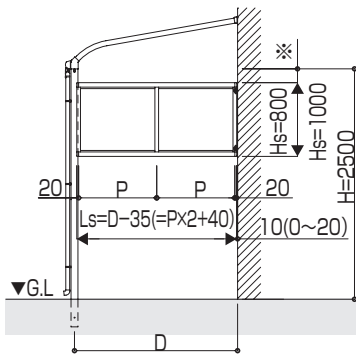
# 寸法図

## 柱標準タイプ

### 《 1 段タイプ : Hs=800、1000 》

呼称奥行4~6尺

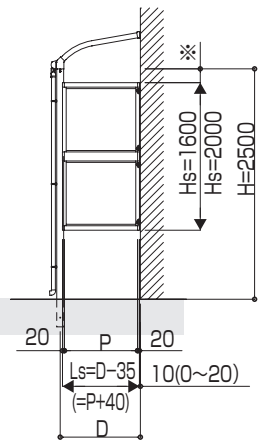
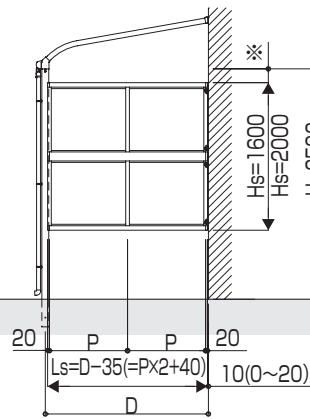
呼称奥行3尺



### 《 2 段タイプ : Hs=1600、2000 》

呼称奥行4~6尺

呼称奥行3尺



呼称奥行	D	Ls	P
3R	870	835	795
4R	1170	1135	547.5
5R	1470	1435	697.5
6R	1770	1735	847.5

※側面パネルすき間隠しを取付ける際の寸法はP.5の【側面パネルすき間隠しを取付ける際のすき間寸法】を参照してください。

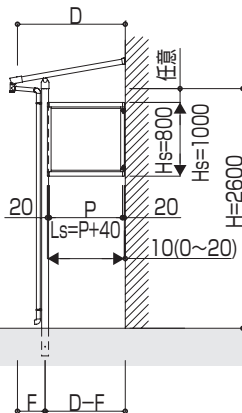
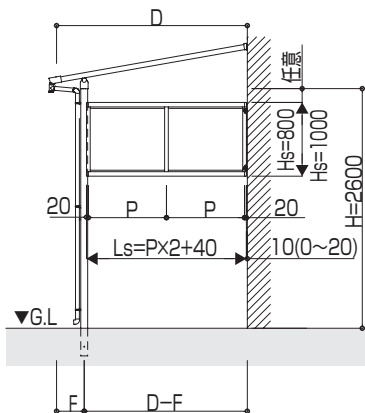
## 柱奥行移動タイプ

### 《 1 段タイプ : Hs=800、1000 》

本図は屋根奥行よりも1サイズ小さい側面パネルを取付けた図を表す。

呼称奥行4~6尺

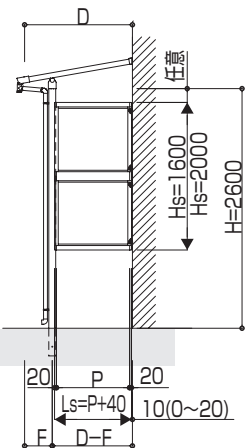
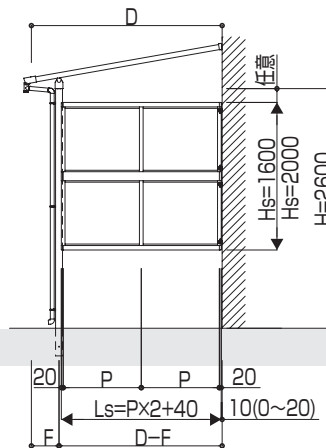
呼称奥行3尺



### 《 2 段タイプ : Hs=1600、2000 》

呼称奥行4~6尺

呼称奥行3尺



#### 【テラス屋根（柱奥行移動タイプ）に取付ける際の注意点】

- $F < 280$  ... 屋根奥行と同サイズの側面パネルを手配（前面パネルと併用時：切詰めあり）
- $280 \leq F \leq 372.5$  ... 屋根奥行と1サイズ小さい側面パネルを手配（前面パネルと併用時：切詰めなし）
- $372.5 < F \leq 500$  ... 屋根奥行と1サイズ小さい側面パネルを手配（前面パネルと併用時：切詰めあり）

#### 【躯体式バルコニー屋根に取付ける際の注意点】

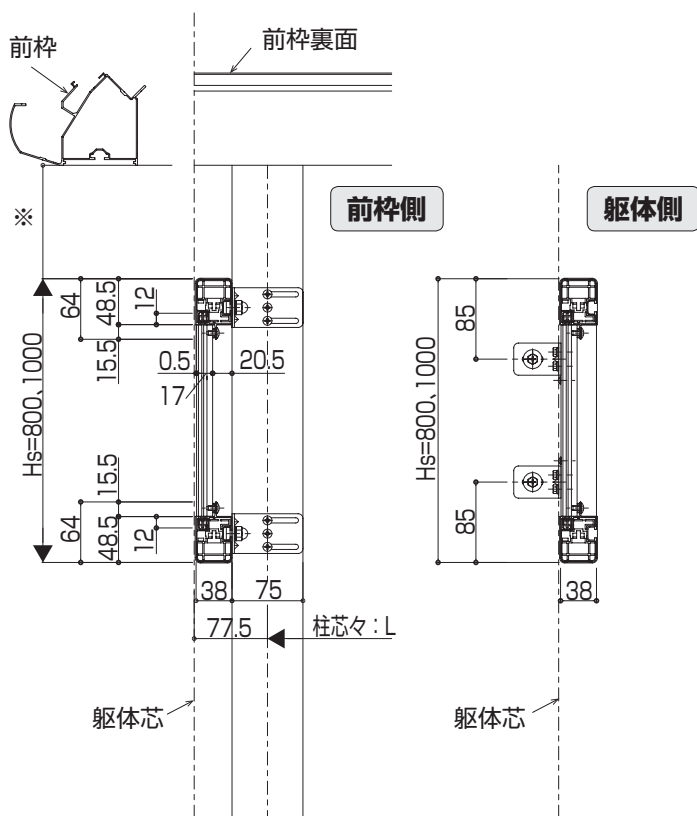
- Hs=800、1600のみ
- 躯体式バルコニー屋根の奥行と同サイズのパネルを手配のこと  
ただし、Bタイプで前面パネル併用時は切詰めが必要

屋根奥行	呼称奥行 (パネル幅)	D	Ls	P
4R	3R	870	835	795
5R	4R	1170	1135	547.5
6R	5R	1470	1435	697.5
7R	6R	1770	1735	847.5

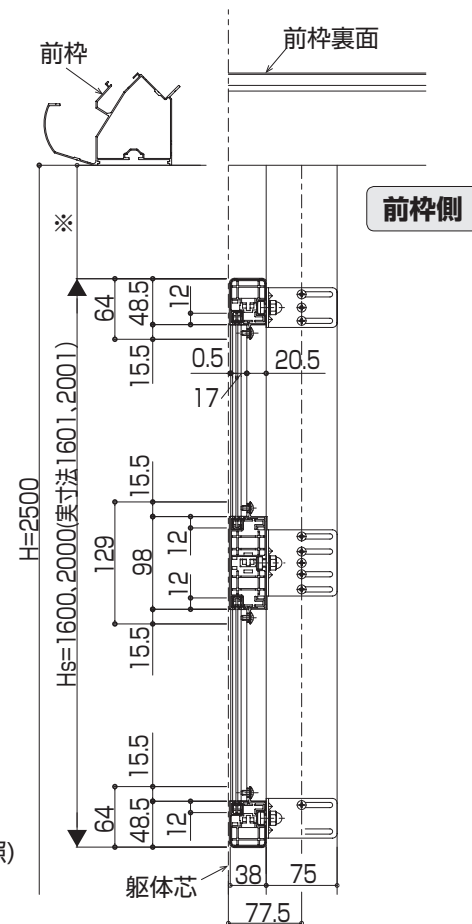
(単位：mm)

## 商品断面図

### 《1段タイプ：Hs=800、1000》



### 《2段タイプ：Hs=1600、2000》



※側面パネルすき間隠しを取付ける際の寸法を示す。(下表を参照)

### 【側面パネルすき間隠しを取付ける際のすき間寸法】

前柵種類	RA	FA	RB	FB
前柵断面				
すき間寸法	145		115	

前柵種類	RC	FC
前柵断面		
すき間寸法	90	

(単位：mm)

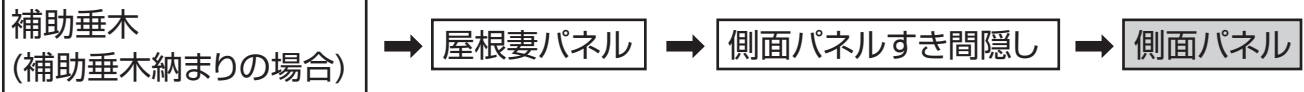




# 組立・施工

## 組立の順序

- 補助垂木・屋根妻パネル・側面パネルすき間隠しを併用する場合は下記の順序で組立ててください。

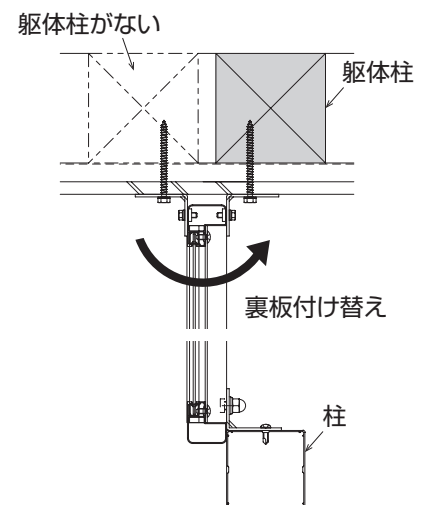


## 躯体柱位置の確認 (P.6 商品断面図参照)

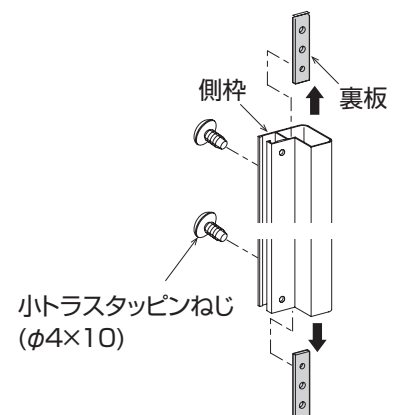
### ⚠ 注意

- ブラケット(躯体側)は必ず躯体柱に固定してください。

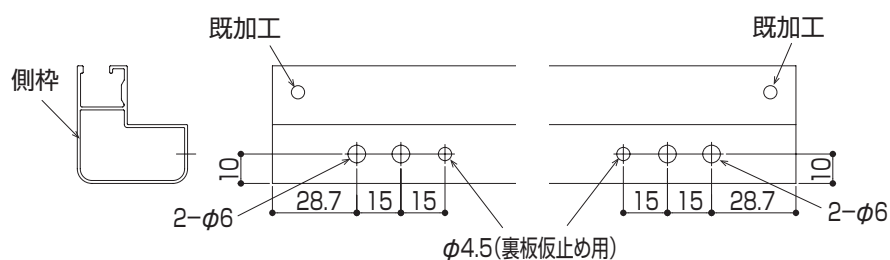
通常のブラケット(躯体側)取付位置に躯体柱がない場合、裏板を付け替えブラケットを必ず躯体柱に固定してください。



1. 側枠から裏板を取外してください。

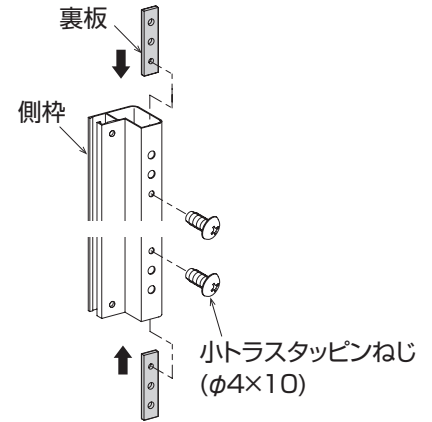


2. 側枠に穴加工をしてください。

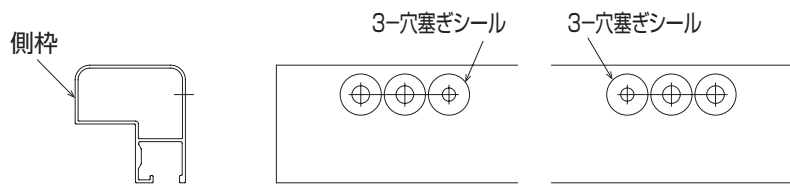


(単位: mm)

3.側枠に裏板をねじで取付けてください。

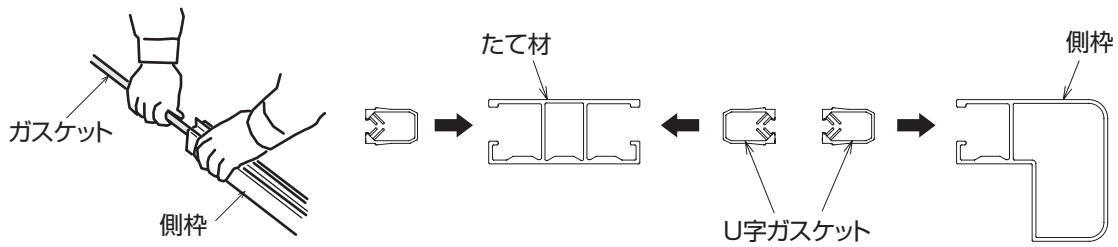


4.側枠の穴をあけた反対側に穴塞ぎシールを貼ってください。

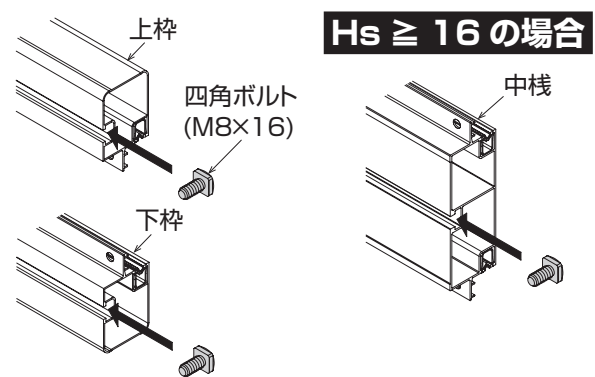


## 部品の取付

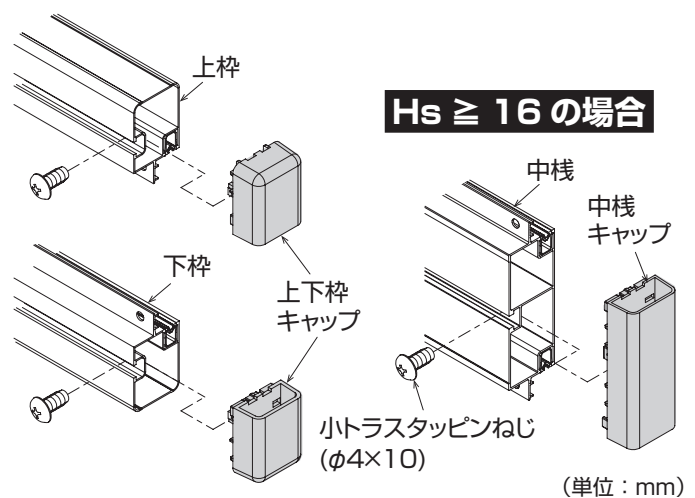
1.たて材と側枠にガスケットを取付けてください。



2.四角ボルトを上枠・下枠に1個ずつ挿入してください。  
Hs $\geq$ 16の場合、中棧にも四角ボルトを挿入してください。

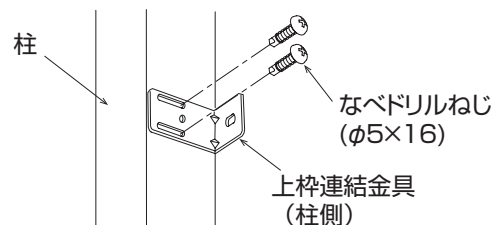


3.上枠・下枠にキャップを取付けてください。  
Hs $\geq$ 16の場合、中棧にもキャップを取付けてください。



## 枠の取付

1. 柱に上枠連結金具(柱側)を取付けてください。



【連結金具取付位置】 P.5 商品断面図参照

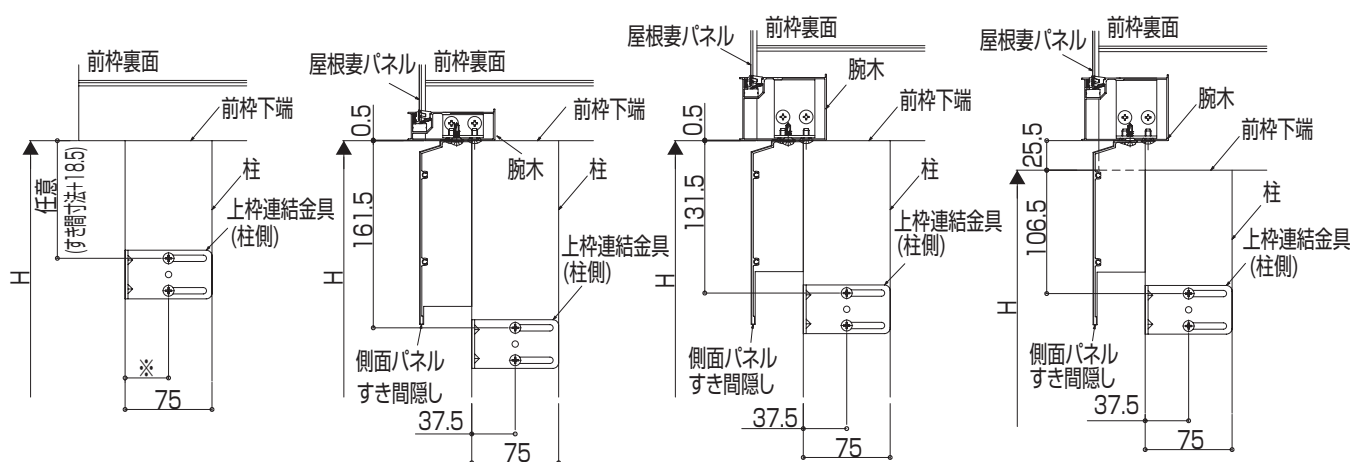
《任意納まり》 《側面パネルすき間隠しと併用する場合(補助垂木納まりも同様)》

●共通

●前枠RA・FA

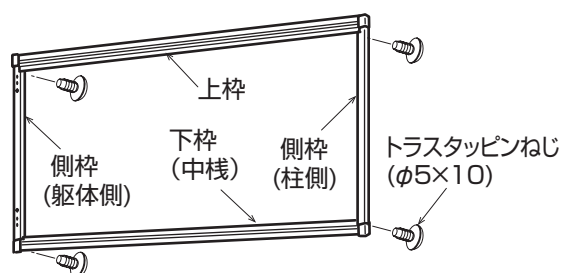
●前枠RB・FB

●前枠RC・FC

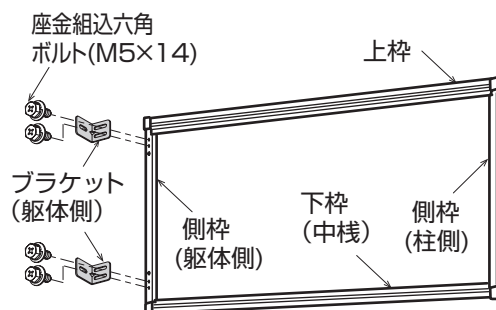


2. 枠を組立ててください。

Hs $\geq$ 16の場合は、中棧を取付けてください。



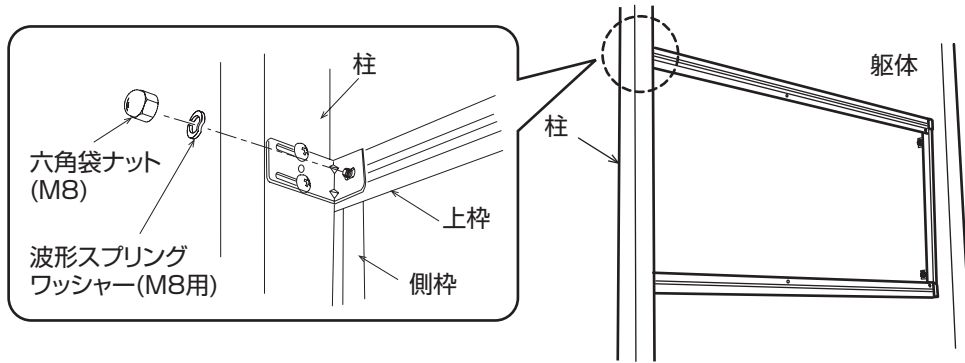
3. 側枠(躯体側)にブラケットを取付けてください。



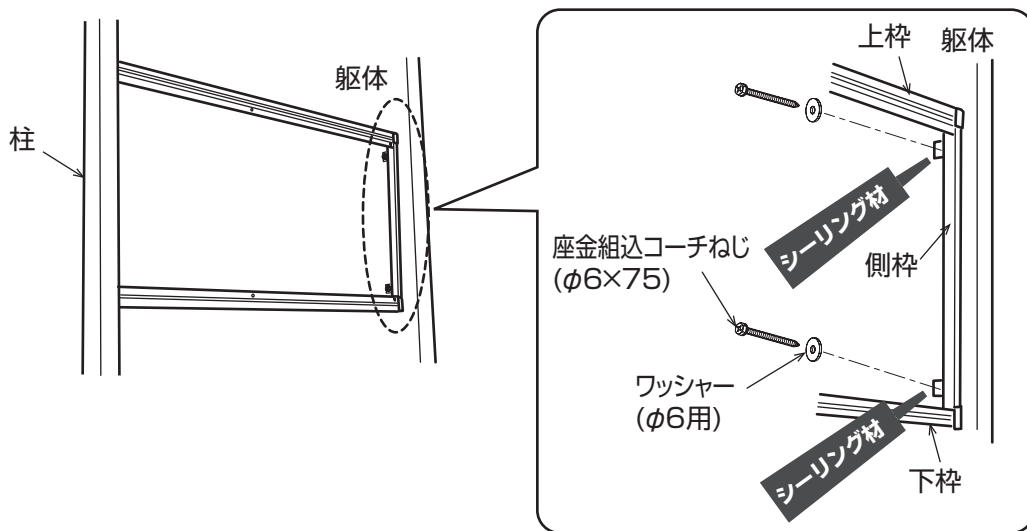
(単位: mm)

側面パネルの水平・垂直を確認しながら、下記の手順4、5、6の作業を行ってください。

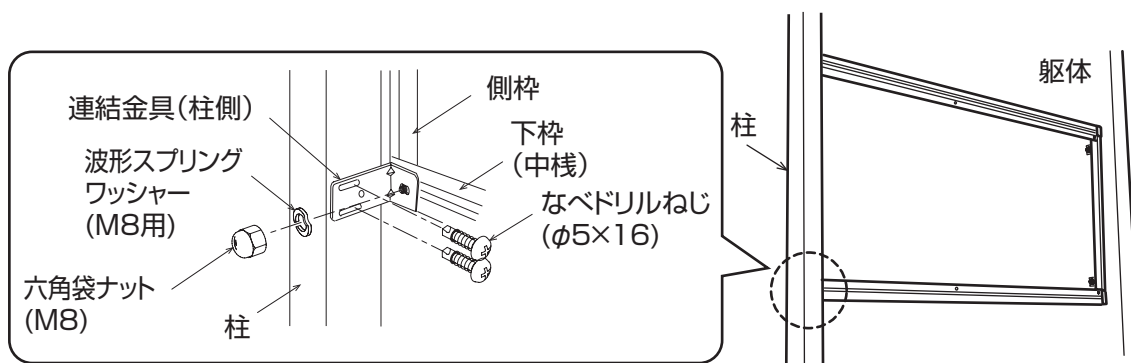
**4. 上枠を取付けてください。**



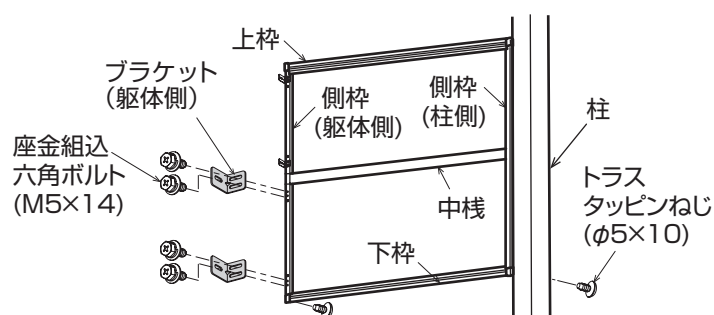
**5. 下穴(φ4.5)をあけシーリング材を充てんしてから側枠をねじ留めしてください。**



**6. 下枠(中棧)を取付けてください。**



**7. Hs ≥ 16の場合、上段と同様に下段の枠を組立ててください。**



(単位：mm)

## パネル材の取付

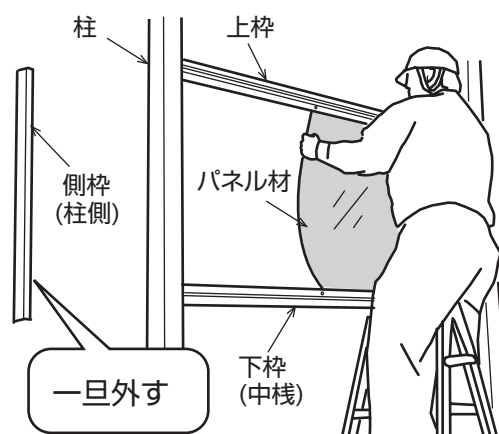


• パネルがマット調の場合、マット面(凹凸面)を屋根内側に向けて組立ててください。

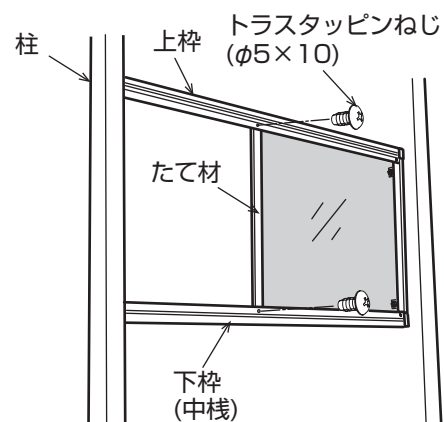
1. 柱側の側枠を一旦外してください。  
パネル材をたわませて上枠・下枠(中棧)に差込み、  
躯体側の側枠のU字型ガسケットの溝にスライド  
して差込んでください。



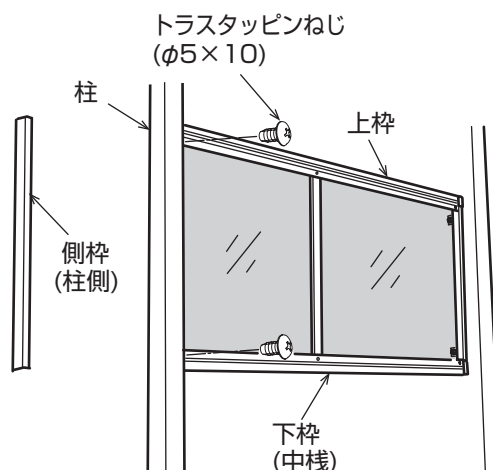
• パネル材がスライドしにくい時は、  
当て板をしてハンマーなどでパネル材  
小口面を軽く叩いてください。



2. たて材(呼称奥行4~6尺のみ)をパネル材に差込み、  
上枠・下枠(中棧)にねじ留めしてください。



3. 柱側のパネル材も同様に取付け、柱側の側枠を  
取付けてください。



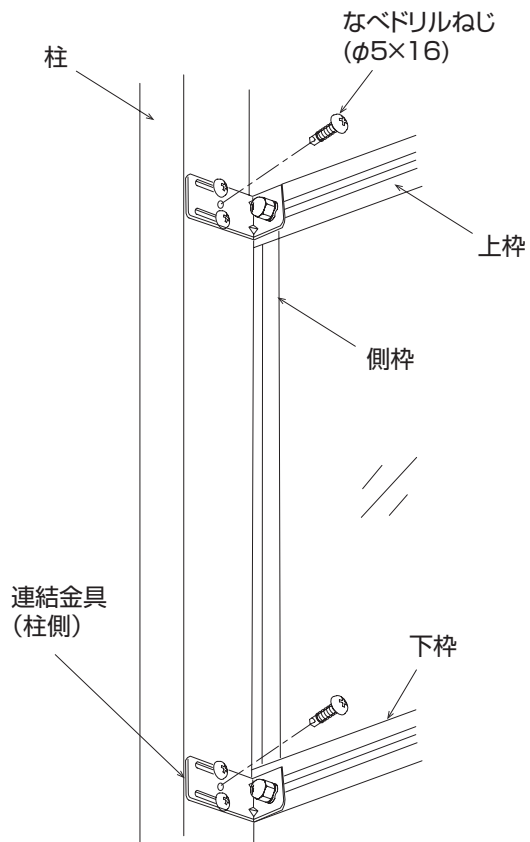
4.  $H_s \geq 16$  の場合、上段と同様に下段にパネル材を取付けてください。

(単位：mm)

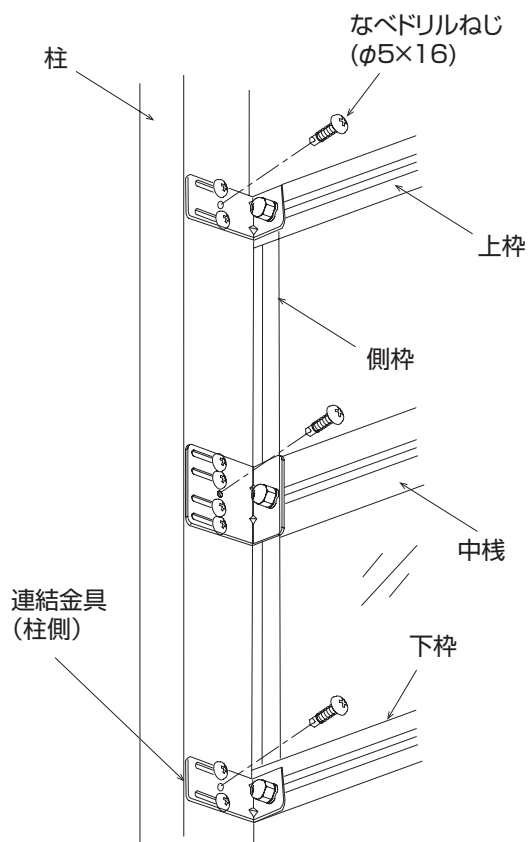
## 連結金具の固定

1. 側面パネルの水平・垂直を確認・調整後、連結金具(柱側・躯体側)を固定してください。

### Hs ≤ 10 の場合



### Hs ≥ 16 の場合



(単位：mm)

